

**質問** 市民主体による協働の協働・市民参画を基本とす。市民との対話が重要と考える。①沖縄県では辺野古米軍基地建設のための埋め立ての賛否を問う県民投票で、反対が有効得票数の7割を超えた。横田基地に隣接する自治体としてどのような受け止めるのか。

**答弁** ①米軍基地に隣接する自治体の長としてその動向を見守っており、沖縄県民の様々な考えや複雑な思いがあったと思考する。②市民討議会を含めたワークショップを行う考えは。

**質問** 要保護児童対策地域協議会が、子どもを社会の中の誰かに押しつけるのではなく、社会全体で育てる意識を育むことが重要と考える。児童虐待をなくすためには、市民、地域、民間団体、学校、児童相談所や警察等の行政機関との連携が今後さらに重要と考えるが、児童虐待への取り組みは。

**答弁** 要保護児童対策地域協議会において、関係機関等と連携を図り、総合的に取り組んでいる。今後は東日本少年矯正医療・教育センターと連携を図るなど、虐待を受けた子どもが、切れ目のない支援を受けられる体制



**大事なことは市民が決めよう**  
みらいネットワーク おおたけ 貴恵 議員

**質問** 市全体の児童虐待への対応力を向上させるための、研修等の実施状況は。

**答弁** 虐待対策ワーカークラスの研修等、職員に研修の受講等、職員の能力向上に向けた取り組みを推進している。

**質問** 市全体の児童虐待への対応力を向上させるための、研修等の実施状況は。

**答弁** 虐待対策ワーカークラスの研修等、職員に研修の受講等、職員の能力向上に向けた取り組みを推進している。

**一般質問 (要旨)**



水辺に咲く (玉川上水付近)

**質問** ごみ焼却施設(清掃センター)について、第五次総合基本計画の中で、延命化を図るとともに、延命後の施設の将来展望を検討する必要があると提起しているが、①現在の焼却施設の延命化はいつまで行っていくのか。

**答弁** 焼却施設の延命化には期限がある。将来的には、市内の一定の場所への建設、または、共同処理を検討すべきでは。

**質問** 各種がん検診事業に、①がん検診希望者の多い種類のがん検診の定員枠を拡大する。②誰もが安心して受診できるように、検診費用の無償化は堅持すべき。

**答弁** ①現状、希望者は全員受診できているが、目標として、安全対策を徹底するよう受診率達成のために定員を要請を重ねていく。

**質問** 平成37年度以降については、の拡大も検討していきたい。

**答弁** ②国において、がん検診実施のための指針等を見直し、精密がん検診の実施されており、これらを踏まえ、総合的な検討を進めていく。

**質問** 米軍横田基地について、①CV-22オスプレイは事故率が高い欠陥機である。市民の安全を守るため、横田基地上空の実態を把握すべき。

**質問** 各種がん検診事業に、①がん検診希望者の多い種類のがん検診の定員枠を拡大する。②誰もが安心して受診できるように、検診費用の無償化は堅持すべき。

**答弁** ①現状、希望者は全員受診できているが、目標として、安全対策を徹底するよう受診率達成のために定員を要請を重ねていく。



**ごみ焼却施設の将来的見通しを示すべき**  
日本共産党昭島市議団 荒井 啓行 議員



**昭島市の児童虐待対策について**  
自由民主党昭島市議団 山本 一彦 議員

**質問** 児童虐待は、社会に生きる我々全員が向き合うべき問題であり、子どもを社会の中の誰かに押しつけるのではなく、社会全体で育てる意識を育むことが重要と考える。児童虐待をなくすためには、市民、地域、民間団体、学校、児童相談所や警察等の行政機関との連携が今後さらに重要と考えるが、児童虐待への取り組みは。

**答弁** 要保護児童対策地域協議会において、関係機関等と連携を図り、総合的に取り組んでいる。今後は東日本少年矯正医療・教育センターと連携を図るなど、虐待を受けた子どもが、切れ目のない支援を受けられる体制



**人口減少社会に対する昭島市の対応について**  
自由民主党昭島市議団 三田 俊司 議員

**質問** 人口減少社会は、経済成長、産業、社会保障、地域に対して大きな影響を及ぼすと考えられる。一地方自治体として行える施策には限界はあるが、しっかりと市として対策すべき。

**答弁** ①少子化への対応は、②予想される弊害と対策は、③少子化の動向を踏まえつつ、効果的な施策とその展開について検討していきたい。

**質問** 人口減少社会は、経済成長、産業、社会保障、地域に対して大きな影響を及ぼすと考えられる。一地方自治体として行える施策には限界はあるが、しっかりと市として対策すべき。

**答弁** ①少子化への対応は、②予想される弊害と対策は、③少子化の動向を踏まえつつ、効果的な施策とその展開について検討していきたい。

**請願・陳情の提出方法**

市民のみなさんが、日頃考えている意見や要望を誰でも市議会に提出することができます。議員の紹介のあるものが請願、ないものが陳情です。議会に提出された請願等(陳情を含む)は、担当委員会で審査されます。なお、請願・陳情者の署名があれば押印は不要です。

〇〇〇〇に関する請願(紹介議員がないものは陳情)

請願(陳情)の要旨

紹介議員 〇〇〇〇印 〇〇〇〇印

年 月 日 (あて先)昭島市議会議長 請願(陳情)者 住所 〇〇〇〇 氏名 〇〇〇〇印 電話 〇〇〇〇

**請 願 ・ 陳 情**

陳 情 件 名	提 出 者	委員会の審査結果	本会議の結果
自治会集会施設整備補助金交付要綱に関する陳情	郷地倶楽部管理委員会 委員長	総務委員会 採 択	採 択
東京都議会から国会へ精神障がい者に交通運賃割引制度を適用できる旨の意見書提出に関する陳情	昭島家族のつどい アットホーム・歩歩 (ばば) 代表	厚生文教委員会 採 択	採 択

